

## PM2.5 質量濃度測定結果と環境基準達成状況

測定局	評価項目	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
王子局	年平均値	μg/m <sup>3</sup>	10.6	10.0	9.3	10.1	9.5
	日平均値の年間 98% 値	μg/m <sup>3</sup>	24.5	26.5	22.6	23.0	22.1
	日平均値が 35 μg/m <sup>3</sup> を超えた日数とその割合	日	1	2	0	1	0
		%	0.3	0.6	0	0.3	0.0
二見局	年平均値	μg/m <sup>3</sup>	11.0	10.8	10.5	10.8	10.4
	日平均値の年間 98% 値	μg/m <sup>3</sup>	25.3	29.5	26.8	25.0	25.3
	日平均値が 35 μg/m <sup>3</sup> を超えた日数とその割合	日	2	3	1	1	0
		%	0.5	0.9	0.3	0.3	0.0
林崎局	年平均値	μg/m <sup>3</sup>	10.9	9.9	8.9	9.4	9.1
	日平均値の年間 98% 値	μg/m <sup>3</sup>	26.5	26.5	21.5	22.5	22.4
	日平均値が 35 μg/m <sup>3</sup> を超えた日数とその割合	日	2	2	0	1	0
		%	0.5	0.6	0	0.3	0.0

### 【参 考：環境基準との比較方法】

#### ・PM<sub>2.5</sub>に係る環境基準

曝露濃度全体を平均的に低減する意味での長期基準と、曝露濃度分布のうち高濃度の出現を減少させる意味での短期基準が定められています。

<p>長期基準：1 年平均値が 15 μg/m<sup>3</sup> 以下 かつ 短期基準：1 日平均値が 35 μg/m<sup>3</sup> 以下</p>
---

#### ・環境基準達成状況の評価方法

PM<sub>2.5</sub> については上記の長期基準と短期基準の両者について長期的評価を行い、環境基準の達成状況の評価します。

長期基準に関する評価は、測定結果の 1 年平均値を長期基準と比較します。

短期基準に関する評価は、測定結果の 1 日平均値のうち、年間 98% 値<sup>※</sup>を代表値として選択して、これを短期基準と比較します。

評価は測定局ごとに行い、長期基準と短期基準の両方を満足した局について、環境基準が達成されたと判断します。

※日平均値の年間 98% 値とは、年間にわたる日平均値（有効測定日分）のうち、測定値の低い方から 98% に相当するものをいいます。なお、低い方から 98% にあたる測定日は、小数点を四捨五入して算出します。